

避難行動及び避難所運営のポイント

(新型コロナウイルス感染症対策)

令和2年7月

伊東市

目 次

- 1 避難行動について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 避難所開設時のポイント・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3 避難所における感染症対策ポイント・・・・・・・・ 7

1 避難行動について

新型コロナウイルス感染症が終息しない中でも、**災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則**です。

適切な避難行動をとるため、ポイントを知っておきましょう。

◎「避難」とは「難」を「避ける」ことであり、自宅での安全確保が可能な場合、避難所に行く必要はありません。

◎避難所が過密になることを防ぐために、可能な場合は親戚や友人の家などに避難することも考えておきましょう。

◎マスク・消毒液・体温計の持参は、できるだけ自ら携行してください。

★災害時の避難所は、3つの密が発生しやすい状況にあります。

避難所で避難生活をするということは、新型コロナウイルスに感染するリスクが高くなりますので、避難所に行かないための備えも検討してください。

《災害時の避難所》

避難所では、密集した環境下での集団生活等により、新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等による感染性胃腸炎などの感染が拡大するリスクが高まります。

新型コロナウイルス感染症が蔓延する状況において、災害が発生し避難所を開設する場合には、感染症対策に万全を期することが重要となります。また、災害時には断水により手洗いや水洗トイレが使えないなど衛生環境が悪化するため、各家庭での備えが必要になります。

① 換気の悪い
密閉空間

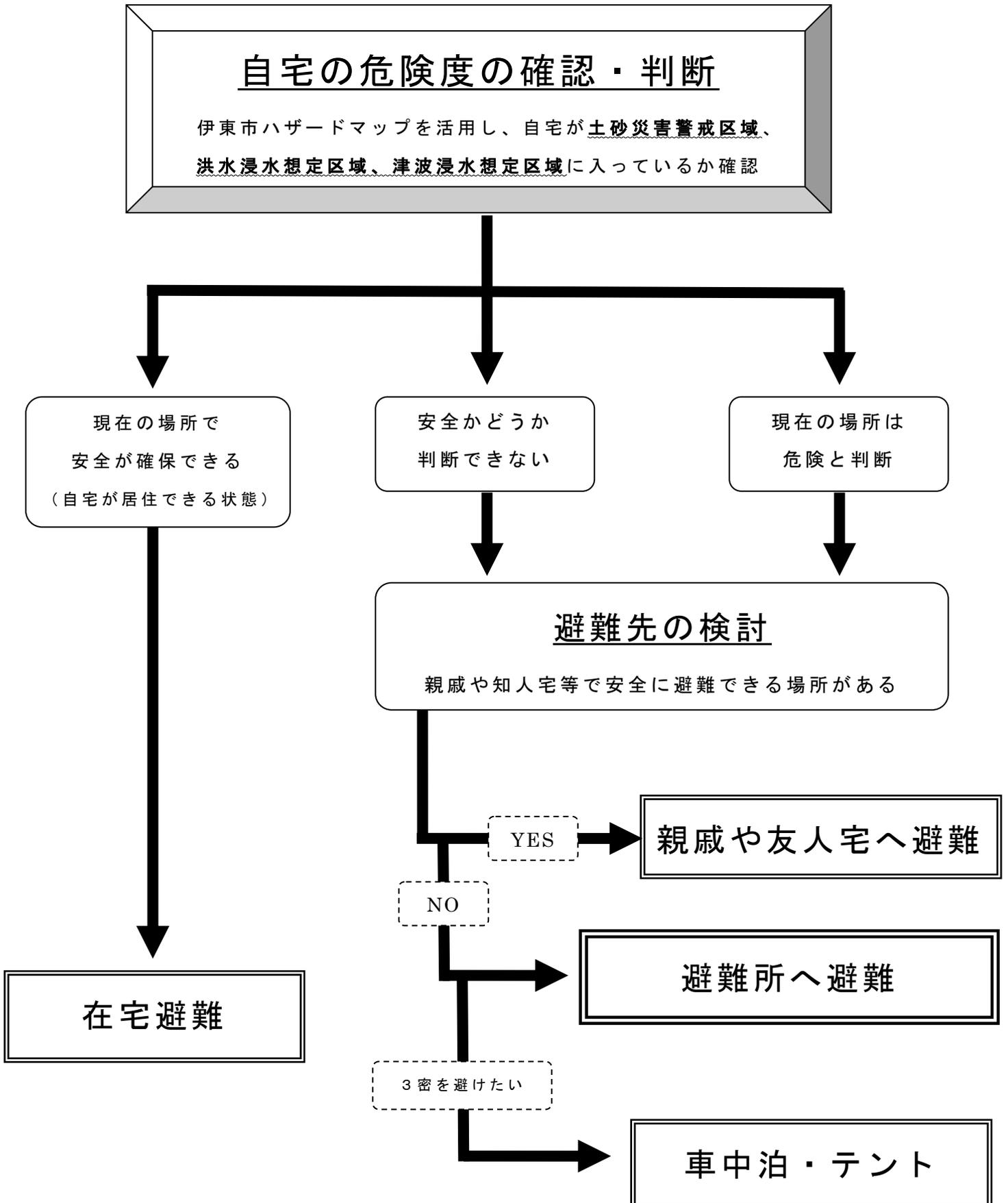
② 多数が集まる
密集空間

③ 間近で会話や発声をする
密接場面



日常生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

避難行動の流れ



避難生活に必要なものを事前に準備しましょう（感染症対策）

① 数日分の食料、飲料水

風水害時には、避難所に食料はありません。

大規模災害時にも活用できるため、日頃から数日分の食料を備蓄しておくようにしましょう。



② 持病薬

必要な薬は持参しましょう。



③ マスク（タオル等）



④ ウエットティッシュ等（アルコール消毒液）



⑤ 体温計



感染症対策として、避難所でもマスクを着用し、消毒液、体温計は持参しましょう。

⑥ モバイルバッテリー



携帯で情報を収集する際、必要です。停電時にも使用できます。

いざという時にすぐに持ち出せるように、

日頃から準備しておきましょう。



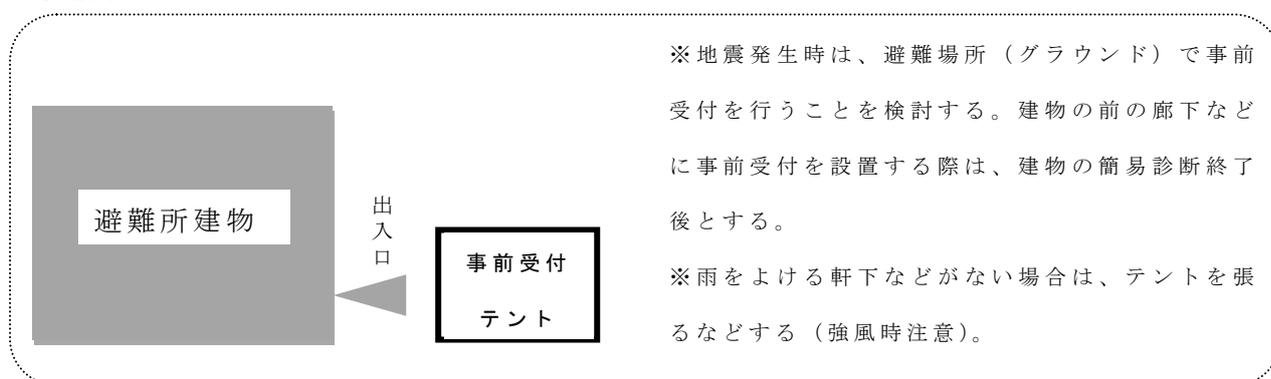
2 避難所開設時のポイント

(1) 事前受付を建物出入口の前（屋外）に設置

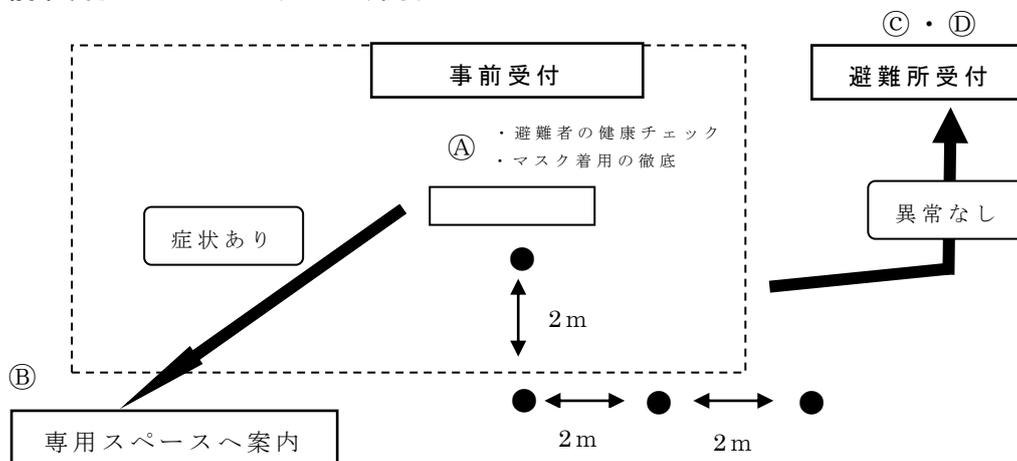
《事前受付設置の注意点》

- ・原則として、建物の出入口の前（屋外）に設置
 - ・建物に雨をよける軒下などがない場合は、テントを張るなどして場所を確保（強風時注意）
 - ・エントランスホールがある場合は、ホール内に設置することも可能
- ※感染予防の観点から必要に応じて工夫すること。

事前受付のレイアウト（例）



●事前受付のレイアウト（例）



※避難者が並ぶ際も、2 m 間隔を確保する。

★事前受付等の人員配置

担当 A は、避難者が、健康状態を口頭で確認

担当 B は、症状あり避難者を※専用スペースに誘導

担当 C・D は、健康状態に異常がない避難者の受付を実施

※専用スペースとは、症状あり避難者を隔離するための部屋などのこと
(別室を用意できない場合は、10 m 以上の距離を確保)

(2) 事前受付開始（発熱等の症状の有無を確認）

《健康状態の確認》

★感染拡大防止のため、受付前に避難者の健康状態を聞き取りにより確認する。

【確認する内容の例】

1	発熱はありますか	はい・いいえ
2	咳・喉の痛みはありますか	はい・いいえ
3	味覚（あじ）・嗅覚（におい）障害はありますか	はい・いいえ
4	倦怠感・関節痛はありますか	はい・いいえ
5	息苦しさ・息切れはありますか	はい・いいえ
6	吐き気が伴うような頭痛はありますか	はい・いいえ

《事前受付のポイント》

事前受付（担当A）のポイント

- ・担当者Aは、事前受付前にマスクの着用を呼びかける。
※マスクは持参が原則だが、持っていない場合は、事前受付でマスクを渡す又は、タオル等で代用してもらう。
- ・担当者Aは、聞き取りにより、避難者から健康状態を確認する。その際、世帯代表者1人から世帯全員の健康状態を聞き取るなど、受付時の避難者滞留を防ぐ工夫を行う。
- ・聞き取りにより、発熱等の症状がある場合は、担当者Bに引継ぎ、専用スペースに案内してもらう。
- ・症状無しの方は、避難所受付へ案内する。

避難所入所時の流れ（発熱等の症状がある人）

症状あり受付（担当B）のポイント

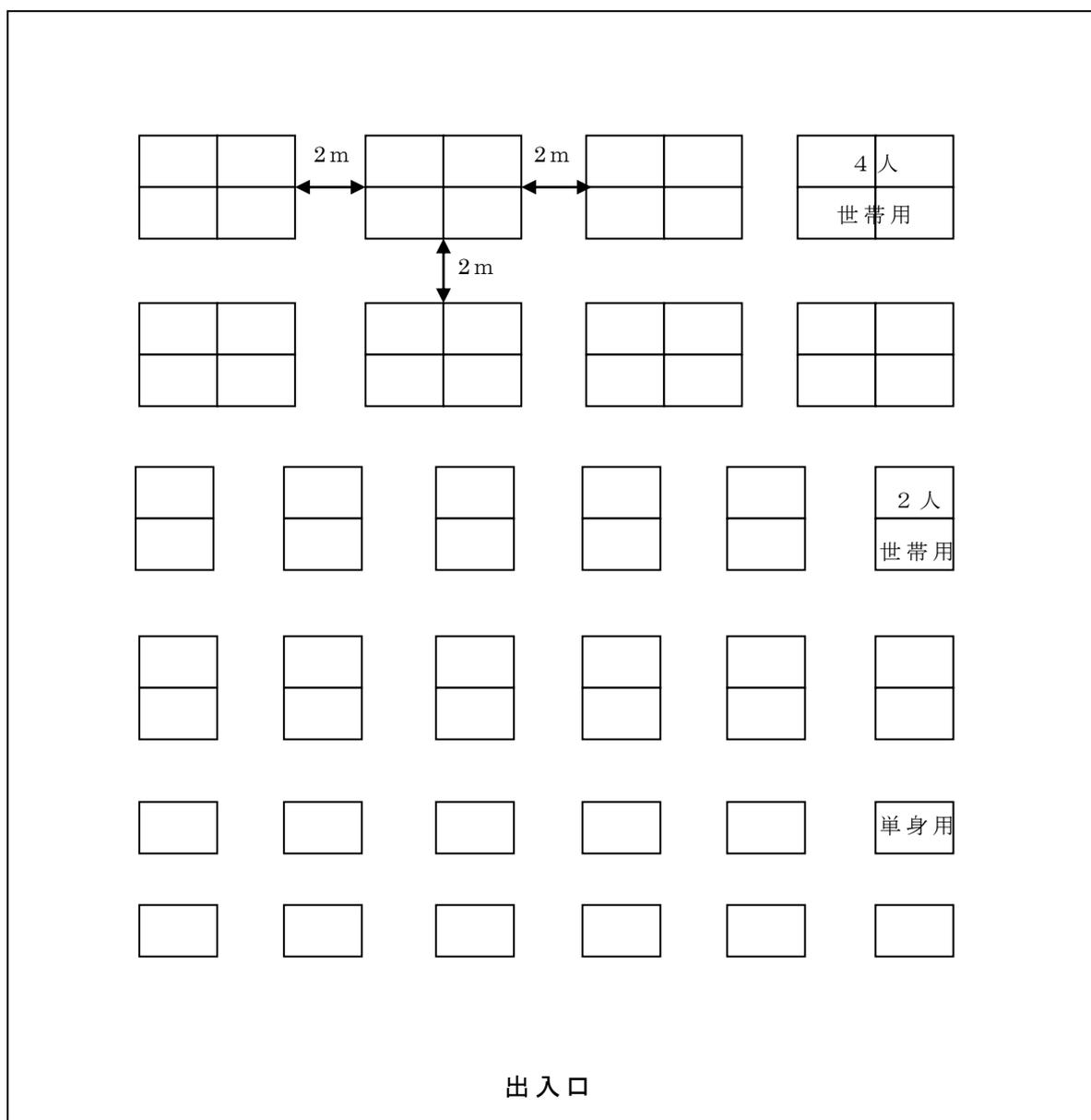
- ・専用スペースまで誘導後、聞き取りにて避難者名簿を作成する。
- ・症状がある人が家族ありの場合は、その家族全員を専用スペースに誘導する。
- ・専用スペースから、トイレ以外、極力出ないように指示する。
- ・体調に異変が生じた場合は、直ちに申告するよう伝える。

避難所入所時の流れ（症状がない人）

異常なし受付（担当C・D）のポイント

- ・入室前に、避難所のルール説明を行い、避難生活は、基本自主運営であることを伝える。
- ・マスク着用、咳エチケット・手洗いの実施・定期的な換気の実施、3密の回避を呼びかける。
- ・万一、具合が悪くなった場合、直ちに申告するよう伝える。
- ・世帯単位でスペースを考え、隣との距離は、おおむね2mを確保するよう伝える（通路も2m）。

避難所レイアウトの一例



3 避難所における感染症対策ポイント

★咳エチケット・手洗い・換気の実施、3密を避ける行動を呼びかける。

★30分に1回以上、避難所内の窓を全開にするなど、定期的な換気を避難者が協力し行う。

★手洗い場、炊事場などでタオルを共用しない。

★飛沫感染を防ぐため、できる限り各避難者のスペース内での食事を推奨する。

★避難者自らが毎日、定期的（朝・昼・夜）な健康状態のチェックを行う（体温計を持参者は、検温も実施）。

★発熱や体調不良が生じた場合は、避難所運営スタッフに直ちに相談する。

★必要に応じ、体調不良者及びその家族を専用スペースに案内し、避難所での感染拡大防止に努める。

★新型コロナウイルス感染症が疑われる場合、帰国者・接触者相談センターに連絡を行い、指示を仰ぐ。

【息苦しさ（呼吸困難）】
【強いだるさ（倦怠感）】
【高熱等の強い症状】

} のいずれかがある場合



※静岡県帰国者・接触者相談センター

☎：050-5371-0561、0562（平日8:30～17:15）

050-5371-0561（土日祝・それ以外の時間）